

NO37 幕藩体制の動揺②

Pain is inevitable Suffering is optional

享保の改革

人材登用	側用人の廃止 → 譜代大名の重視 1723【 足高の制 】→ 旗本の登用と経費削減 大岡忠相・神尾春央ら 【 荻生徂徠 】(政談)・【 田中丘隅 】(民間省要)らの登用 寺子屋の教科書:『六諭衍義大意』(室鳩巢 編纂)
財政再建	倭約令 1722【 上げ米 】実施 大名 1 万石につき 100 石上納、江戸在府半減、参勤交代緩和 年具増徴: 検見法 → 【 定免法 】 新田開発 → 【 町人請負新田 】の奨励
殖産興業	実学の奨励 → 漢訳洋書輸入緩和 商品作物栽培の奨励 → 甘藷栽培【 青木昆陽 】・榎・朝鮮人参
商業対策	物価高・米価安に対応 米価対策 → 堂島米市場公認、元文金銀(悪貨)の鋳造 物価対策 → 【 株仲間の公認 】 商工業者の同業者組合を広く幕府公認とした
都市対策	【 目安箱 】設置 → 庶民の意見を聞く → 【 小石川養生所 】設置する 防火対策 → 【 町火消 】の設置(いろは 47 組)
その他	【 公事方御定書 】制定 → 裁判基準、町奉行の大岡忠相が中心 【 相对済し令 】 → 金銭貸借の訴訟は受理しない。裁判事務の簡素化。

STEP3 三大改革を極める

享保の改革

8代将軍徳川吉宗は、家康の政治を理想とする将軍親政の方針をとり、財政の再建を図った。大名から米の上納を命じた(1 **上米** の制)、町人の出資で開墾をさせる(2 **町人請負新田**)、商品作物栽培の奨励、a 実学奨励などの政策はこの一環であり、年貢徴収方法を検見から(3 **定免法**)に切り替えることで増収を実現した。

《難関レベル…寺子屋の教科書:『六諭衍義大意』を編纂したのは(P **室鳩巢** 編纂)》

政治の刷新では、下級からの人材抜擢を可能にした(4 **足高**)の制の採用、公正迅速な裁判のための(5 **公事方御定書**)の編さん、借金関係訴訟の当事者解決を定めた

(6 **相对済し令**)などの政策がある。《難関レベル…吉宗による勘定所の改革で、訴えや願いを受け付けることになったのが、→ P **公事方**、年貢収納・出納を扱ったのが P **勝手方** である。》また、民政重視の姿勢は、(7 **目安箱**)を設置して b 直訴を認めたことや、米相場の安定のために株仲間の結成を許可したことに表れている。

吉宗の改革により、幕府財政は強化されたが、農村では貧富の差が拡大し、幕藩体制の根本的建て直しにはいたらなかった。

問1 空欄1~7に適語を記せ。

問2 下記の設問に答えよ。

a このため、漢訳洋書の輸入が解禁され、蘭学が始まった。蘭学者の中で、サツマイモの栽培を研究したのは誰か。→ **青木昆陽**

b これが認められて設置されたものを2つ記せ。 **小石川養生所・町火消**

田沼時代～寛政の改革

田沼時代	10代【 徳川家治 】 側用人【 田沼意次 】	重商主義政策…商業資本の利用 【 株仲間の奨励 】 → 運上・冥加の増収が目的 専売制の強化 → 銅座・真鍮座・朝鮮人参座 【 南鐮二朱銀 】の鋳造…定量計数貨幣 印旛沼・手賀沼の干拓 → 失敗
	その他 長崎貿易の奨励 → 【 銅 】【 俵物 】の輸出奨励 蝦夷地開発計画 【 工藤平助 】 → 『赤蝦夷風説考』の影響 【 最上徳内 】の蝦夷地探検	
寛政の改革	【 天明の飢饉 】 → 冷害と【 浅間山 】の大噴火による東北・関東を中心に被害 田沼政治への批判…賄賂政治、若年寄田沼意知の暗殺 徳川家治の死 → 田沼意次の罷免	
	徳川家斉 老中【 松平定信 】	農村対策 【 囲米 】 → 各地に社倉・義倉設置 大名 1 万石につき 50 石の備蓄
		都市対策 【 旧里帰農令 】 → 帰農の奨励 【 七分積金 】 → 町費節約分 7 割の積立 石川島に【 人足寄場 】 → 無宿人の収容、職業訓練
		その他 【 棄捐令 】 → 旗本・御家人の札差への借金、一部帳消 【 寛政異学の禁 】 1790 聖堂学問所で朱子学以外の講義禁止 寛政の三博士(柴野栗山・尾藤二洲・岡田寒泉) 昌平坂学問所 1797 → 幕府直轄へ 出版統制 → 【 林子平 】(『海国兵談』) 発禁 【 山東京伝 】(洒落本)・【 恋川春町 】(黄表紙)
		【 尊号一件 】 1789 → 光格天皇 は父の閑院宮典仁親王へ太上天皇の尊号宣下を要求 → 松平定信が拒否 → 朝幕関係の悪化 徳川家斉と対立して松平定信失脚

田沼時代 私大対策

10代将軍徳川家治の側用人として台頭した田沼意次は、重商主義に基づく政治を推進し、(1 **株仲間**)を積極的に結成させて(2 **運上**) (3 **冥加**)を徴収した。《難関レベル…**南鐮二朱銀**の特徴は、銀貨に「二朱」と金貨の単位がつけられたことである。これからわかるように、田沼意次は「銀を中心とする貨幣制度」でなく、P **金貨を中心とする貨幣制度**への一本化を図ったのである。》また、a 幕府専売の座を設置するとともに b 町人請負新田を奨励し、長崎貿易の拡大のため、金銀の枯渇で新たに採掘が拡大した(4 **銅**)や、中国向け海産物の(5 **俵物**)の輸出を振興した。さらには、c **ロシア**との貿易も視野に入れ、蝦

武器としての日本史

Pain is inevitable Suffering is optional

夷地開発の計画も立てている。《**難関頻出レベル**…『赤蝦夷風説考』を著し、田沼意次に献上したのは、仙台藩医 **工藤平助** である。彼は、ロシアの南下政策などについて述べ、蝦夷地の開発と対露貿易の必要性を説いた。

一連の政策は幕府財政を強化したが、貨幣経済の流入した農村では急速な階層分解が生じた。浅間山噴火に端を発した（6 **天明の大飢饉**）により多数の餓死者が出ると一揆・打ちこわしが頻発し、賄賂政治と批判されたこともあって田沼は失脚を余儀なくされた。

《**難関レベル**…若年寄田沼意知を刺殺したのは、旗本 **佐野政言** である。》

問1 空欄1～6に適語を記せ。

問2 下記の設問に答えよ。

- a 具体的にはどのようなものが専売になったか。**銅座・朝鮮人参座**
- b この結果、干拓がおこなわれた利根川の三日月湖は何か。**印旛沼**
- c 蝦夷地へのロシア人接近を知らせた人物と、その著書を記せ。**工藤平助、赤蝦夷風説考**

寛政の改革

11代将軍（1 **家斉**）の老中として田沼政治を否定し、享保の改革を範とする政治改革に着手したのが a **松平定信** である。天明の大飢饉の手当として都市流入民の帰村を奨励し、凶作に備えて b **米の貯蔵** を大名に命じ、c **農村で貯穀** を促した。都市下層民対策としては、町費を節約させて非常時のために貯金させる（2 **七分積金**）を実施し、浮浪者を収容して職業指導をおこなう（3 **人足寄場**）を作っている。また、旗本や御家人を d **借金** から解放するため（4 **棄捐令**）を出した。言論統制にも積極的で、遊里を舞台とする e **洒落本作家** の他、f **海防の必要性** を説いた者を処罰している。また、綱紀の粛正のため、儒学のうち、古学や折衷学に押されていた（5 **朱子学**）を振興するため、林家の私塾を官学の（6 **聖堂学問所**）とし、（5 **朱子学**）以外の講義を禁じる（7 **寛政異学の禁**）を出している。

《**難関レベル**… **定信の時に、朝幕関係を悪化させた事件を **尊号一件** という。**

問1 空欄1～7に適語を記せ。

問2 下記の設問に答えよ。

- a 彼は何藩の藩主だったか。**白河藩**
- b この政策を何と呼ぶか。**囲米**
- c 農村に設置された備蓄施設は何か。**義倉・社倉**
- d どのような業者から借金をする例が多かったか。**札差**
- e この人物名を記せ。**山東京伝**
- f この人物名と著書を記せ。**林子平「海国兵談」**